

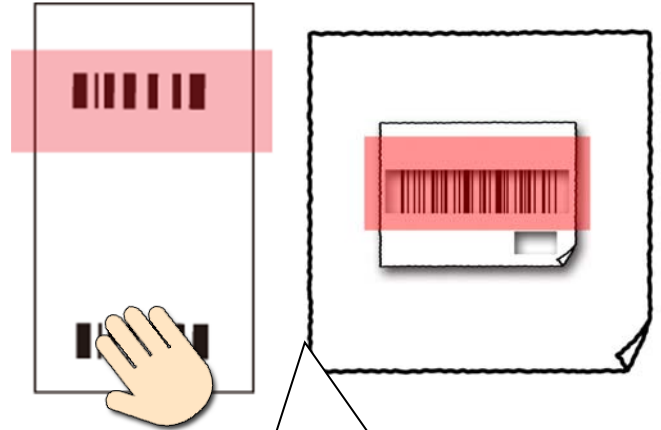
## 2次元バーコードリーダー

クイックプログラミングマニュアル Ver2.00



## 2. ご利用時の注意

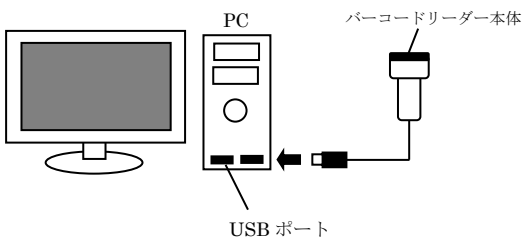
2次元バーコードリーダーは照射範囲が広いので、範囲内の別コードを読み取る場合がございます。その際は穴あきシートや手などで読み取り不要のコードを照射エリア内に入らないように隠してください。



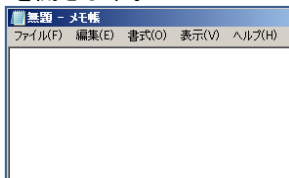
読み取り認識範囲が広いので隠して他コードを読み取ってください。

## 1. 本機の接続方法について

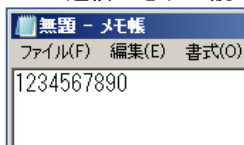
- ①パソコンの電源を入れて Windows を起動します。
- ②読み取りを行う前に、本体の USB ケーブルコネクタをパソコンの任意の USB ポートに接続します。



- ③パソコンの USB ポートに接続するとピープ音が鳴り、電源が入ります。
- ④本機の読み取りボタンを押して、照射すると接続完了します。
- ⑤メモ帳や Excel を開きます。



- ⑥照射した光をバーコードにかざして「ピッ」という音が鳴り、読み取ったデータが PC に送信できれば読み取り完了です。



## 3. 本体バージョン確認のバーコード

PC 側のメモ帳などを開き、下記のバーコードを読み取ってください。



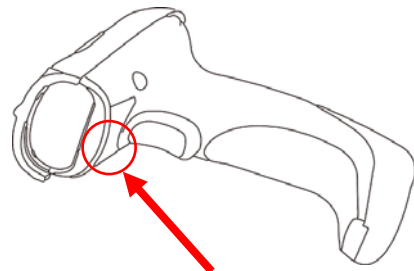
## 4. 詳細マニュアルについて

本誌はよく使われる設定を抜粋したクイックマニュアルです。詳細マニュアルは CD 付属のマニュアル、又は下記の URL よりダウンロードください。

### ◆URL

[http://www.media9.co.jp/m\\_tuhan/support.html](http://www.media9.co.jp/m_tuhan/support.html)  
※型番にあったマニュアルをダウンロードください。

### 型番の表示位置



型番は図のラベル部分に記載がございます。

## 設定手順について

※本誌設定は必要な場合のみ行って下さい。

### ① 適応する設定コードをスキャン

例:読み取り音を変更する場合、  
設定コード「%0505M%」をスキャンします。

### ① 設定対応番号のスキャン

例:音量を「中」にする際は  
「01」が対応コードなので「対応コード表」より、  
「0」 → 「1」の順に読み取ります。

### ② 設定変更の保存

下記コードを読み取り設定終了です。



### 初期化

バーコードの設定を初期に戻します。



%%DEF

※初期化の際はこのコードのみ読み取ります。

### キーボード設定

キーボードレイアウトを設定します。

※特殊記号「¥」などを使う場合に設定ください。

設定コード	内容	対応コード
 %0902M%	日本語	08○
	英語	00

### 付加コード設定

読み取り時の最後の付加コードを設定します。

設定コード	内容	対応コード
 %8002M%	Enter	0D0A○
	無し	000A
	TAB	090A
	Space	200A

### UPCA=JAN13 変換の設定

先頭が「0」から始まる13桁コードを読み取ります。

設定コード	内容	対応コード
 %0902M%	無効	00○
	有効	02

## 読み取りモード設定

設定コード	内容	対応コード
 %0401M%	トリガー	01○
	常時照射	03

トリガー: 手動モード

常時照射: レーザー照射を続けます。

※スタンド利用時の自動照射(オートスキャン/ハンズフリー)は  
スタンドのマニュアルをご確認ください。

## ビープトーンの設定

設定コード	内容	対応コード
 %0505M%	低い	00
	中間	01
	高い	02○

## 読み取り音のON・OFF設定

設定コード	内容	対応コード
 %0503M%	OFF	00
	ON	01○

OFFにすると読み取り音が出ない状態になります。

## 対応コード表

